



真城っ子

やさしさいっぱい

かしこさいっぱい

たくましさいっぱい



『スマホ依存の親が子どもを壊す』

親のスマホ依存が子供に及ぼす悪影響について、出典資料「スマホ依存の親が子どもを壊す（諸富祥彦／明治大教授）」に基づき保護者の方に知っておいていただきたい重要なポイントをまとめました。



1. 「スマホ・ネグレクト」という無自覚な虐待

親がスマートフォン（LINE やゲームなど）に夢中になり、赤ちゃんが泣いていても放置したり、子供の呼びかけに気づかなかったりする状態は、本質的には「スマホ・ネグレクト」と呼ばれます。これは親自身に自覚がないまま進行する、「**静かな、軽微な虐待（プチ虐待）**」の一種とされています。

2. 子供の感情コントロール能力への悪影響

スマホに気を取られた親との間で、情緒的なつながりや応答が得られない環境で育つと、子供に以下のような兆候が現れやすくなります。

- ・激しいかんしゃく： ちょっとした不快なことで感情が爆発し、泣き叫んだり、物を投げたり、友達を傷つけたりしてしまいます。
- ・衝動性の抑制不足： 自分の感情を内側に保つ力（自制心）が育たず、授業中にじっと座ってられない、人の話を集中して聞けないといった状態に陥ることがあります。

3. 心の土台（自己肯定感）の崩壊

特に0歳～3歳の時期は、親との安定した絆である「**アタッチメント（愛着）**」を形成し、「**心の安全基地**」を築くべき重要な時期です。

- ・スマホによってこの絆の形成が阻害されると、子供の心に「自分は大切にされる価値がない」「幸せになる価値がない」という根源的な自己肯定感の不全が生じます。
- ・この心の傷は、成長しても「自分はどうせダメなんだ」という負の心のパターンとして定着してしまいます。

4. 大人になってから現れる深刻な影響

子供時代に形成された「否定的な心のパターン」は、大人になってもその人を苦しめ続ける可能性があります。

- ・対人関係の困難： 他人への不信感が根底にあるため、親密な関係を避けたり、結婚したいと思っても相手を拒絶してしまったりします。
- ・社会生活への支障： 少し嫌なことがあるとすぐに「**キれる**」ため、仕事が長続きせず、転職を繰り返したり、ひきこもりになったりするリスクが高まります。

結論として

スマートフォンの依存性は、アルコールや薬物と同様に非常に強いものです。子供が求めているのは、親からの「情緒的なつながりと応答」です。日々の生活の中でスマホに奪われている時間を意識し、子供にとっての「心の安全基地」になれるよう、向き合う時間を作ることが何よりも大切です。

今すぐ、親がやめるべき「3つのこと」

- ①子どもと一緒にいる時は、スマホやゲームに気を取られて、子どものことがないがしろに（スマホネグレクト）ならないように注意する。
- ②しつけのつもりで、怒鳴ったり、暴力に訴えたりして、「プチ虐待」をしないように注意する。学校で暴れてものを壊したり、投げたり、友達をたたいたりしている子どもの大半は、「叱りすぎている家の子」です。
- ③小さい子どもには、できるだけスマホやゲームなどのIT機器に触らせすぎないでください。



真城小学校「大運動会」



■大会スローガン

「一致団結 仲間と共に 優勝への道を切り拓け！」

心配された天候も、真城っ子に味方してくれ、予定通り運動会を実施することができました。優勝、1着、出来栄え・結果だけを評価することなく、努力、向上心、粘り強さといった「成長の過程」を、おおいに褒めてあげて下さい。そして、高めることができた「たくましさ」を明日からのより意欲的で、主体的な生き方（勉強や生活）につなげていくよう励ましてあげて下さい。



6月行事予定

- 3日（水） 1, 2, 3年内科検診
5年福祉体験学習
- 9日（～15日）◆心を見つめる教育週間◆
- 10日（水） 1, 6年道徳授業参観・懇談会
- 11日（木） 3, 5年道徳授業参観・懇談会
4年交通安全教室
- 12日（金） 2, 4年道徳授業参観・懇談会
- 15日（月） 6年ものづくり体験
- 18日（木） 4年浄水場見学
- 26日（金） 1, 5年 大阪フィル交響楽団
ワークショップ

◆四・五月の生活重点ミッション振り返り◆

『あ』あいさつ 元気なあいさつ・返事
↓真城っ子はあいさつ上手。自分から
進んでできるように頑張りましょう。

◆六・七月の重点ミッション◆

『は』はじまりの時間

チャイムと同時に授業を始めよう
↓時間を守ることは、人間社会では
とても大事な習慣です。時間に余裕
をもって行動できるようにしよう。

